

個別施策評価調書

部長	次長

主管部	経済部	対象年度	平成27年度
関係部	環境生活部		—
	—		—

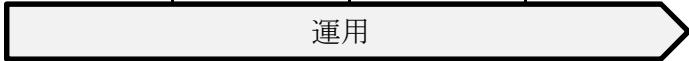
基本施策	自然環境を保全・活用する					
個別施策	23 資源の保全・活用					
個別施策の方向	つくば市の恵まれた自然環境を保全・活用するとともに、一般廃棄物の減量や資源化を推進し、循環型社会の構築を目指す。					
これまでの取組概要	つくば市の自然環境の保全・活用を目指し、林道整備事業や森林整備・管理を実施するとともに、環境保全型農業の推進に努めてきた。また、循環型社会の構築を目指し、リサイクルセンター整備事業に向けた準備を進めてきた。					
市民意識調査満足度	H27	38.9%	H29		参考値（第3次総合計画市民意識調査結果） 対象施策名：緑のまちづくり	54.7%

平成27年度決算及び事業費内訳										(単位：千円)		
H27年度決算	事業費	71,609	人件費	26,931	事業コスト	98,540						
事業費内訳	国庫支出金	8,056	県支出金	19,467	地方債	0	その他特財	42	一般財源	44,044		

個別施策の代表指標名	指標種別	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31
森林整備面積 (ha)	成果指標	目標値	20	20	20	20	20	20
		実績	28.81	14.80	—	—	—	—
筑波山における市有林保全管理面積 (㎡)	成果指標	目標値	110,000	60,000	30,000	30,000	30,000	30,000
		実績	51,000	30,400	—	—	—	—
カバークropp事業及び有機資材購入費補助事業の補助対象面積 (ha)	活動結果指標	目標値	350	370	370	370	370	370
		実績	355	338	—	—	—	—

個別施策の総合評価	
総合評価	C 施策の成果があまり確認できないため、要因分析と見直しを要する。
自己評価	<p>森林整備面積の実績が、前年に比較して半減しているが、H27年度は、整備単価が高い竹林整備の要望が多かったことから減少したもので、引き続き、要望に基づき推進していく。</p> <p>筑波山における市有林保全管理面積が減少していることから、今後さらに、森林ボランティア団体と市民が一緒になった森林の保全管理を積極的に実施することが必要である。そのことにより、自然環境を保全・活用し、市民協働意識の形成及び森林などの多面的機能の向上が図られる。</p> <p>また、現在、一般廃棄物循環型社会の構築のため、資源化率を増加させることが課題の一つであり、リサイクルセンター等の整備が必要となる。このため、平成30年度のリサイクルセンター建設及び平成31年度の複合施設の建設に向け、スケジュールどおり進捗されている状況である。</p>

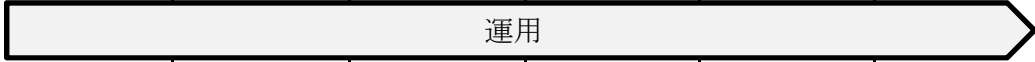
個別事業調書

個別施策	23 資源の保全・活用												
個別事業名	23-1	身近なみどり整備推進事業				担当課	農業課						
事業概要	森林の公益的機能を確保するため、民有林の整備（除伐・下刈り等）や森林管理歩道の整備を行う。												
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31	
	工程	運用 											
	事業費(千円)	35,884		20,293		24,744		23,944		0		—	
事業指標	指標名	森林整備面積 (ha)				年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
						目標値	20	20	20	20	20	20	
						実績	28.81	14.80	—	—	—	—	
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備面積 14.80ha ・森林保全協定 14.80ha 												
H27年度決算	事業費(千円)	20,293	人件費(千円)	6,900	事業コスト(千円)	27,193	正職員従事割合(人)				0.90		
							時間外勤務(時間)				80.00		
事業費内訳(千円)	国庫支出金	0	県支出金	18,133	地方債	0	その他特財	0	一般財源		2,160		
事業の進捗状況	未達成：事業全体が当初の計画どおり達成されなかった												
事業の有効性	中：適切な成果が得られている												
事業の効率性	中：適切な費用対効果が得られている												
総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施												
課題と改善目標	平成27年度は、整備単価が高い、竹林整備の要望が多く、整備面積が目標値に達成しなかった。引き続き、要望に基づき事業を実施する。												

個別事業調書

個別施策	23 資源の保全・活用												
個別事業名	23-2	林道整備事業				担当課	農業課						
事業概要	林道4路線及び市有林管理道の維持管理(除草, 側溝清掃, 路面清掃等)や安全を確保するために補修工事等を実施する。												
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31	
	工程	運用											
	事業費(千円)	12,366		10,867		9,667		9,588		9,588		9,588	
事業指標	指標名	改良工事延長 (m)				年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
						目標値	50	130.6					
						実績	0.0	131.0	—	—	—	—	
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 林道等の維持管理 (除草2回 計1.18ha, 側溝清掃 2回 計3.5km, 路面清掃3回 計11.29ha) 林道改良工事 L=130.6m (平成26年度繰越事業) 林道補修工事 3箇所 												
H27年度決算	事業費(千円)	10,867	人件費(千円)	3,928	事業コスト(千円)	14,795	正職員従事割合(人)				0.50		
							時間外勤務(時間)				80.00		
事業費内訳(千円)	国庫支出金	0	県支出金	1,084	地方債	0	その他特財	2	一般財源		9,781		
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された												
事業の有効性	中：適切な成果が得られている												
事業の効率性	中：適切な費用対効果が得られている												
総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施												
課題と改善目標	引き続き、林道の維持管理及び林道補修工事を実施する。												

個別事業調書

個別施策	23 資源の保全・活用														
個別事業名	23-3	筑波山市有林整備事業				担当課	農業課								
事業概要	森林ボランティア団体との協働や委託事業等により市有林の保全管理を実施する。														
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31			
	工程	運用 													
	事業費(千円)	11,502		2,536		4,547		4,791		4,791		4,791			
事業指標	指標名	保全管理面積 (㎡)				年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
						目標値	110,000	60,000	30,000	30,000	30,000	30,000			
						実績	51,000	30,400	—	—	—	—			
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・森林ボランティア団体による活動により約2.9haの森林整備が実施された。 ・業者委託により約0.14haの除草と通路整備（基面整正）を行った。 														
H27年度決算	事業費(千円)	2,536		人件費(千円)	4,671		事業コスト(千円)	7,207		正職員従事割合(人)		0.60			
											時間外勤務(時間)		80.00		
事業費内訳(千円)	国庫支出金	0		県支出金	250		地方債	0		その他特財	40		一般財源	2,246	
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された														
事業の有効性	中：適切な成果が得られている														
事業の効率性	中：適切な費用対効果が得られている														
総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施														
課題と改善目標	引き続き、森林ボランティア団体と連携して森林整備を実施する。 27年度は業者委託による除草や通路整備をあまり実施しなかったため、28年度は適切に整備を実施する。														

個別事業調書

個別施策	23 資源の保全・活用														
個別事業名	23-4	環境にやさしい農業推進事業				担当課	農業課								
事業概要	作付けされていない農地表土流出等を防止するために被覆植物種子の無料配布や、特別栽培農産物及び有機JAS認証者に対して、有機肥料の助成措置を行う。														
工程表	年度	H26		H27		H28		H29		H30		H31			
	工程	運用													
	事業費(千円)	6,022		5,307		8,944		10,606		10,606		10,606			
事業指標	指標名	カバークロップ事業及び有機資材購入費補助事業の補助対象面積 (ha)				年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
						目標値	350	370	370	370	370	370			
						実績	355	338	—	—	—	—			
活動実績	カバークロップ事業 119人 102ha 有機資材購入費補助事業 17件 236.1ha														
H27年度決算	事業費(千円)	5,307		人件費(千円)	3,843		事業コスト(千円)	9,150		正職員従事割合(人)		0.50			
											時間外勤務(時間)		48.00		
事業費内訳(千円)	国庫支出金	0		県支出金	0		地方債	0		その他特財	0		一般財源	5,307	
事業の進捗状況	達成：事業全体が当初の計画どおり達成された														
事業の有効性	中：適切な成果が得られている														
事業の効率性	中：適切な費用対効果が得られている														
総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施														
課題と改善目標	<ul style="list-style-type: none"> カバークロップ事業 課題は特にはないが、27年度の希望数量に対して予算が不足していたため、28年度の申請数量も踏まえて今後の予算額を検討する。 有機資材購入費補助事業 申請者一人あたりの交付額が少ないため、営農者にとって、メリットの少ない事業になっている。 29年度以降に必要なに応じて交付金額、対象について検討を行う。 														

個別事業調書

個別施策		23 資源の保全・活用																			
個別事業名		23-5 リサイクルセンター整備事業				担当課		廃棄物対策課													
事業概要		循環型社会の構築に資するため、効率よくリサイクルを行う拠点としてリサイクルセンターを整備し、これに関連して旧焼却施設跡地に紙類等のストックヤード及び廃食用油からBDF（バイオディーゼル燃料）を精製する複合施設を建設してリサイクル率の向上を図る。																			
工程表		年度		H26	H27	H28	H29	H30	H31												
		工程				設計		リサイクルセンター工事													
				解体設計		解体		設計		複合施設工事											
事業費(千円)		6,210		32,606		6,264		2,641,084		2,997,791		294,540									
事業指標		指標名		市内のごみ（一般廃棄物）総量に対する再資源化の割合（%）		年度		H26	H27	H28	H29	H30	H31								
						目標値		16.0	15.6	17.1	18.4	21.8	26.0								
						実績		15.9	—	—	—	—	—								
活動実績		一般廃棄物減量等推進審議会 4回開催 専門部会 3回開催 ごみ処理基本計画の改定版を策定 生活環境影響調査を完了 旧炉解体調査を完了 リサイクルセンター建設工事発注仕様書を作成																			
H27年度決算		事業費(千円)		32,606		人件費(千円)		7,589		事業コスト(千円)		40,195		正職員従事割合(人)		1.00					
												時間外勤務(時間)		60.00							
事業費内訳(千円)		国庫支出金		8,056		県支出金		0		地方債		0		その他特財		0		一般財源		24,550	
事業の進捗状況		達成：事業全体が当初の計画どおり達成された																			
事業の有効性		中：適切な成果が得られている																			
事業の効率性		中：適切な費用対効果が得られている																			
総合評価		B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施																			
課題と改善目標		現在、事業に向けた進捗が図られているため課題は見当たらない。																			